

中央公民館主催「サマースクール」活動報告

報告者/ 教育学科 2 年:橋本尚明、高橋ほのか、藤堂咲弥、原田若葉
 日時/ 2024 年 7 月 27 日(土) 10:00~11:30
 場所/ 広島市文化財団 中央公民館(中区西白島町 24-36)
 目的/ 対象となる子どもたちと近い年代の講師による小学生の「考える力」を養う機会を提供する。
 参加者/ 小学 1~3 年生 6 名、学生ボランティア 4 名

<活動内容>

内容	詳細
再生紙づくり	メインの活動として「再生紙づくり」を行いました。不要になったコピー用紙の裏紙を小さく破りペットボトルに入れて水と一緒にしっかりと振り、紙の形に広げて乾かすことで再生紙を作るというイベントでした。好きな色にしたり、紙をスイカに見立ててイラストを描いたりと自由な発想で楽しみながら活動してくれていたのが印象的でした。
ポケダンス	ポケダンスを知らない子が多い中、先に大学生が手本を見せて大学生と一緒に何回も踊ることで踊れるようになりました。回数を重ねると音楽を声に出して踊ることも出来たり楽しそうに皆でダンスを踊る事が出来ていたりして大学生も子ども達と一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。
ジェスチャーゲーム	紙を乾かす時間が予定より長く、ポケダンスに飽きていた子どもがいたので、急遽レクリエーションとしてジェスチャーゲームをしました。他の活動の時に仲の良い子でかたまっていたり、周りの人と話す回数の少ない子どもも、みんなで協力したり話し合ったり喜びあったりして、コミュニケーションの輪が広がっているのが分かりました。

お申し込みは、中央公民館へ電話か来館で

① 紙作りにチャレンジ!

大学生の皆さんと、使わなくなった紙を使って新しい紙(再生紙)を作ります。どうやって紙が生まれ変わるのか、リサイクルの仕組みを学ぼう!
 みんなでポケダンスもおどるよ!

対象 ◆ 小学生 先着 15 人
 日時 ◆ 7 月 27 日(土)10:00~11:30
 会場 ◆ 中央公民館 2 階 調理実習室
 講師 ◆ 広島文教大学 教育学部の学生さん
 内容 ◆ 大学生に教えてもらう「古紙を使った紙作り」
 持参物 ◆ 筆記用具、飲み物、おれは空のペットボトル(500mlくらい)

※申込みは、広島文教大学教育学部 2 年生です。小学生の皆さんと一緒に活動できることを楽しみにしています。『作って、買って、買って夏休みの思い出と一緒に作りましょう!』





<感想>

○2か月という短い期間での準備でしたが何度も担当の方と連絡を取ったりミーティングを重ね、どんな内容にしたら小学生さんに喜んでもらえるか、どう説明し進行すればよいかなどをしっかりと話し合い事前準備をしたりしたことが当日に生かされ良かったと思います。このボランティアを通して学んだ小学生さんへの声のかけ方や事前準備で必要な視点などを今後の学修に生かしていきたいです。(橋本)

○私たち大学生が企画した物でボランティアを行うことは初めてでした。試行錯誤を繰り返した為難しいと感じることが多かったですが段階を踏んでの準備があったからこそ成功したのかなと感じました。本番では初めましての子供同士が多い中、活動を通して仲良くなる事が出来てよかったと感じています。このボランティアを通して計画をもって準備することの力や子供たちとの関わり方を考える事が出来る力など多くの力を身につけることが出来ました。(高橋)

○私は、このサマースクールの活動を通して学生主体となって企画づくりから準備当日の運営をすることは今までなかったので大変貴重な経験になりました。活動の中でより良いものになるように何度もメンバーとミーティングを行いました。意思疎通を図り合意形成を行うことを通して全員が納得する方向性に進む重要性を学ぶことが出来ました。当日子供たちが目を輝かせながら楽しそうに活動に取り組む姿を見て頑張ってきた準備が本当によかったと思いました。(藤堂)

○今回大学生になって初めてのボランティア活動で、どうしたら良いのか分からないことが多々ありました。その中で 3 人と何度もミーティングを重ねることで計画を立て、当日を迎えることが出来ました。最初は不安だったけど、活動を重ねるうちに子ども全員が仲良くなり、笑顔を沢山見ることができ、嬉しかったです。(原田)